**✓　１人１台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する**

**✓　これまでの我が国の教育実践と最先端のＩＣＴのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す**

Ｒ５学校便り　No.４

令和５.５.１０

四国中央市立

　　　小富士小学校

小

富

士

子

っ

い

き

い

き

**「ＧＩＧＡしこちゅ～」の実現**

**文部科学省のＧＩＧＡスクール構想の実現を受けて、四国中央市では、「つながる・ひろがる新しい学び、未来への挑戦－子どもたちの夢！可能性は無限大！」をキャッチフレーズにして「ＧＩＧＡしこちゅ～」を推進しています。そのことにより、児童生徒の学力向上を図ろうとしています。しかし、そもそもＧIＧＡスクール構想って何でしょうか？**

|  |
| --- |
| **クロームブックを使って学習している様子** |

**文部科学省は、上のように言っています。つまり、「これまでの教育実践の蓄積に加え、ＩＣＴを活用して教育の情報化を推進する。そして、一人一人に応じたより良い学習の場を整えて、子どもたちに学力を付けていく」ための構想です。要するに、授業等の時間に１人１台端末（小富士小学校ではクロームブック）を使いながら学習を進めて、学力を付けるのだということです。また、このＧＩＧＡスクール構想では、授業において教科書を使うように、一人一人が情報端末を使うことが、令和の学びの「スタンダード」になることを目標の一つとしています。小富士小学校にも１人１台のクロームブックが整備されており、子どもたちは、朝の「小富士タイム」の時間や授業でクロームブックを使って学習しています。おかげで児童はクロームブックの使い方にも慣れ、ＩＣＴを活用する力も付いてきています。中には、びっくりするようなスピードでタイピングをする児童もいます。ただ、ＩＣＴを活用することによる弊害や失われるものがあるかもしれないといった心配する声もあります。しかし、何が何でもＩＣＴということではなく、これまでの教育実践における手法や成果に基づき、アナログとデジタルのそれぞれの良さを組み合わせ、より良い教育を目指していますので、安心してください。小富士小学校では、今後、クロームブックを家庭に持ち帰り、クロームブックを使って家庭学習する機会を増やしていくなど、ＩＣＴ活用をますます推進しながらも、「読むことや書くこと、計算すること」などを大切にして「ＧＩＧＡしこちゅ～」を実現しようと考えています。**